

公表 業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス山形コロニー シード			公表日	令和8年 2月 20日
		チェック項目	評価	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	△	休業日は特に人数によって、また活動によって狭いと感じるときがあるので、活動内容や場所の工夫をしています。	クールダウンが必要な時に相談室などにご案内していますが、相談室が使用中の時にはパーティションも活用してスペースを確保していきたいと思えます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	△	ニーズに沿って丁寧な支援ができるよう工夫しています。また、職員の支援力向上にも努めてまいります。	女性の職員しかいないことから、同性が関わったほうが良い場面では慎重に関わらせていただいています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	必要な方には個別の予定ボードを作成し、イラスト、写真、文字などでわかりやすく表示しています。スロープやエレベーター、手すりがあり、バリアフリー化されています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	清掃と消毒を毎日行って清潔に努めています。整理整頓することで安全に活動ができるように努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	△	部屋が開いていない場合もあります。活動場所の一部に仕切りを使用して刺激を減らす工夫をしています。	活動場所以外にシード専用の個室がありません。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○	朝・夕のミーティングや研修・会議・行事も含め、日々報告や検討、振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	毎年実施し、いただいた回答をもとに業務改善を図っております。家族との交流が少ないとのこと意見をいただき、今年度は保護者交流会を企画しました。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	毎月の会議の他、朝と夕方にミーティングの際に意見を把握できる体制を取っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	×		第三者評価は実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	法人内の研修では、感染予防、虐待・身体拘束に関する研修、個別のケースに対応するための専門研修、防犯研修などを実施しています。外部の研修に参加した際は事業所内で伝達研修を実施して内容の共有をしています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	ホームページ上で公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○	日頃の活動の様子からアセスメントするとともに、利用児童とご家族からのニーズも踏まえて計画を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	計画作成の際は児童発達支援管理責任者と支援にあたる職員とで日々様子や活動状況について話し合い、共通理解のもとで検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	利用児童とご家族からの情報も共有したうえで放課後等デイサービス計画に沿って支援しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	利用開始時に標準化されたツールでアセスメントを行い、標準化された手順を用いて活動を行っています。利用を重ねることで見えてきた変化や様子についてはケース記録に残して共有しています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	△	地域の中で暮らすためのマナーや経験を高めるための活動を実施しています。 「同年代のこどもをはじめとした地域での仲間づくり」については、様々な学校に通っている利用児童がシードで共に活動し、コミュニケーションを図ることができています。	「地域支援・地域連携」についてはどのような方法があるかこれからも検討していく必要があると思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	日々の活動の様子をチームで共有し、プログラムの内容に反映しています。 支援の内容について前の週の週間ミーティングで相談や様々な視点での検討を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	どの活動にも目的をもって参加していただけるよう丁寧な説明を心がけています。 これまでの活動を見直ししながら、固定化しないようにしていますが必要に応じて連続した活動を設定することもあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別・集団、立位・座位など様々な活動を組み合わせた計画・支援を行っています。無理な活動にならないように特性に合わせて場所を設定するなど柔軟に対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎朝のミーティングで当日の支援の内容や役割分担について確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	夕方のミーティングにて共有し、次回の支援につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	ケース記録だけではなく、ミーティングの記録も行い、振り返りながら次につなげることができています。特記事項だけではなく日常の様子などの記録も大切にしていきたいと思っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6か月以内にモニタリングと計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	△	「日常生活の充実と自立支援のための活動」と「体験活動」に資する活動が多いですが、年間で見ると4つの基本活動（多様なあそび、地域交流の活動、子供が主体的に参画できる活動）を含む活動があります。	余暇活動、創作活動、地域交流の機会については機会が多くないので、取り入れる工夫が必要だと感じています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	作業の場面では職員から作業依頼をしていますが、本人に寄り添いながら意思の確認や承認を行っています。 コミュニケーショントレーニングや長期休み中のリフレッシュ活動では利用児童の意見を聞いたり選択する機会を設けながら活動を進めています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	主に児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	日常の連携は障害福祉関係事業所、学校と連携するケースが多く、保険医療との連携は保護者を通して行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	送迎のある学校との連絡調整は保護者の方にもご協力いただきながら行っております。それ以外の学校には年1回は訪問させていただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	×		中高生対象の放課後等デイサービスであるため、就学前の関係機関と連絡を取ることはこれまでありませんでした。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	学校で開かれるケア会議に参加させていただき、情報の共有を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	山形県立こども医療療育センターによる専門職派遣事業にてスーパーバイズを受ける機会をいただきました。	

者との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	△	シード以外の団体と関わる機会はありませんが、シードの利用自体が学年、学校も違う児童が通ってこられますので、交流の機会となっていると考えます。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○	「児童発達支援・放課後等デイサービス事業者の会」に児童発達支援管理責任者だけでなく、それ以外の職員も参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	△	良いところもこれからさらに伸ばしていきたいところもご様子をお伝えしています。	お迎えに来ていただいた際にはその都度ご報告できていますが、自力で帰宅する方もいらっしゃり、電話や連絡帳でお伝えするなどしていますが、頻度にはばらつきがあるため、工夫していきたいと考えています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		家族に対するペアレントトレーニングの情報提供は十分にはできておりません。ご家庭でも活かしていただけるような情報提供ができるよう、職員が研鑽を積んでまいりたいと考えています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	運営規定や利用者負担については契約時に説明をさせていただいております。支援プログラムについては見学にお越しいただいたときに実際の場面や写真を見ていただきながらご説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	事前のアセスメントでお子様と保護者の意思や状況を確認し、それを踏まえた計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	計画の説明の際には日頃の活動の様子も含めてお伝えしながら説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	ご相談をいただいた際にはお話を伺い、必要な情報提供や助言をさせていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	△	今年度は保護者懇談会「シードカフェ」やご家族・兄弟にもご参加いただける「上映会」を企画しました。ご家族も参加していただける事業所見学などの際に交流していただいている場面も見られます。	父母の会はありません。これからも保護者同士、きょうだい同士が交流することができる企画についてアイデアを出しながら検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情受付体制については重要事項説明書を用いてご説明をしております。苦情があった場合には誠実に対応させていただきたいと思っております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	基本的にホームページのブログにて活動状況を発信をしています。アクセスしやすいようにQRコードを載せてお知らせしています。	行事予定等は紙のお便りでお渡ししております。発行からお手元に届くまで数日かかる場合があります。ICTの活用も検討していきたいと考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	プライバシーマークを取得している法人として共通のルールに則って留意しております。写真や氏名の取り扱いについては書面でご意向を伺っています。また、日々の配布物等について、氏名の確認を徹底しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	お伝えするタイミングや伝え方などの工夫をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	10月に開催している地域交流会が地域の方とも交流できる機会となっています。見学は随時お受けし、ご案内しています。法人として、地域の皆様へ会議やイベントの場所の提供などを行っています。	機会は多くありません。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	それぞれの研修と訓練を行っております。大切な訓練は毎年繰り返して行い、有事に備えています。	マニュアルの見直し、整備、ご家族への周知を定期的に行ってまいります。	
47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	年に2回、協会全体の避難訓練を実施しているほか、シード単独の避難訓練も月～金の5日間、年2回実施しています。		
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	服薬やてんかんの状況について、利用前に確認・共有し、てんかん発作時の対応についてもご利用日の都度確認しています。	予防接種については把握しておりません。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	アレルギーの有無についても利用前に確認・共有し、職員全員でご利用日の都度確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	安全計画を作成し、計画に基づき防災、防犯、安全運転、感染予防、環境整備について、安全確認と研修・訓練を実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	安全計画を玄関（風除室）にていつでも閲覧できるように設置しております。また、災害時の対応についてシード日よりお知らせをさせていただきました。	ご家族へのお知らせの仕方を工夫してまいりたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>	毎日夕方のミーティングでヒヤリハットがあれば出し合い、再発防止についても検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	山形県で実施している虐待防止研修への参加と、コロニー協会内でも毎年虐待防止研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	本人または他の利用者の安全を守るためにやむを得ない場合に限定して、保護者に説明し、同意を得て計画に記載しております。	